

※作品ごとに必ず添付してください

令和8年度『文芸磐田 第52号』応募票

応募部門 (○で囲む)	小説	随筆	詩	短歌	俳句	川柳
文字数 (小説・随筆・詩)	字 (20,000字以内)	字 (4,000字以内)	字 (800字以内)	／ (必ず5首)	／ (必ず5句)	／ (必ず5句)
よみがな						
題名 (小説・随筆・詩)	(短歌・俳句・川柳部門は、記入不要です)					
よみがな						年齢
本名						歳
よみがな						
作者名 (ペンネーム)	(本名と異なるペンネームの掲載を希望する場合のみ、ご記入ください)					
住所	〒 (団地名・アパート名 棟番まで書いてください)					
電話番号 FAX 番号	☎ ()		—			
	Fax ()		—			
応募した部門 (すべて○で囲む)	小説 ・ 随筆 ・ 詩 ・ 短歌 ・ 俳句 ・ 川柳					

(磐田市外在住の方のみご記入ください)

磐田市内の 勤務先・学校名・所属グループ名						
所在地	〒 磐田市					
電話番号 FAX 番号	☎ ()		—			
	Fax ()		—			



(受付印欄)

※この欄は記入しないでください

申込み方法	郵送 ・ 窓口
-------	---------

『文芸磐田 第52号』作品募集!

《 募集要項 》

1. 目的	磐田市民の創作意欲を高め、文芸活動の発表の場とするため、作品を募集します。文芸の輪を広げ、読者に感動を与える作品づくりを応援します。
2. 応募資格	磐田市内に在住・在勤・在学、または磐田市内を拠点とした団体などで活動している方で、文筆を生業としない方。(中学生以下の方を除く)
3. 募集部門	 <ul style="list-style-type: none">◇ 小説 ひとり 1編 20,000字以内(原稿用紙50枚以内)◇ 随筆 ひとり 1編 4,000字以内(原稿用紙10枚以内)◇ 詩 ひとり 1編 800字以内(原稿用紙40行以内) <p>※ 原稿用紙：縦書き・400字詰(20字×20行)を使用できる限り、デジタル原稿(word文書・A4判・縦書き20字×20行)で提出をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none">◇ 短歌 ひとり 必ず 5首(4首以下は不可)◇ 俳句 ひとり 必ず 5句(4句以下は不可)◇ 川柳 ひとり 必ず 5句(4句以下は不可) <p>※ 原稿用紙：縦書き・200字詰(20字×10行)を使用できる限り、デジタル原稿(word文書・A4判・縦書き20字×10行)で提出をお願いします。</p>
4. 応募方法	<ul style="list-style-type: none">◆ データの提出… LoGo フォーム(推奨)、CD・DVD URL ▶ https://logoform.jp/f/Qf2uV◆ 紙の提出… 直接持参または郵送 〒438-0831 磐田市上新屋678番地1 『文芸磐田』担当 宛て 【受付時間】 8:30~17:15 【休館日】 月曜日(月曜日が祝日の場合は祝日の翌日が休館日) <p>応募票をデータで必要な方は、磐田市ホームページからダウンロードをお願いします。</p> <div style="text-align: right;"><p>▼LoGo フォーム QRコード</p></div>
5. 募集期間	令和8年4月1日(水)~令和8年6月30日(火) ※当日必着

入賞者には
記念品を贈呈!



ひっぺい
©磐田市

(次ページへ続きます)

<p>6. 応募上の注意</p>	<p>① 所定の応募票（右頁裏）を必ず添付してください。複数の部門で応募される場合は、部門ごとに応募票を添付してください。（応募票はコピー可）</p> <p>② 応募票と原稿用紙は、のりづけやホッチキス留めをしないでください。また、ひどく汚れた原稿の提出はご遠慮ください。</p> <p>③ 応募票にご記入いただいた個人情報は、ご本人へ通知する際に使用させていただきます。また、作者名は本誌への掲載及び報道機関への発表に使用させていただきます。ご了承ください。</p> <p>④ 応募作品は、ご本人の創作で未投稿のものに限ります。審査の段階で、他誌への投稿や盗作の疑いが判明した場合は掲載できません。他の作品からの引用も禁止です。やむをえず引用する場合は、必ず出典名を明記してください。名誉棄損にあたる行為等、作品中に個人等を特定する情報の記載も控えてください。</p> <p>⑤ 前作の続編は好ましくありませんが、どうしてもという場合は、題名にその旨を記してください。</p> <p>⑥ 原稿の書き方も審査の対象となります。右の「原稿の書き方」を参考に、手書きの場合は、楷書で丁寧に書いてください。また、<u>原稿用紙の余白に必ず作者名（ペンネーム）を書いてください。</u></p> <p>⑦ 難しい言語や漢字には、必ずふりがなをつけてください。小説・随筆・詩については、必ず常用漢字・現代かな遣いを使用してください。また、本誌製版にあたり修正させていただくことがあります。</p> <p>⑧ 応募規定や応募上の注意に反する作品、判読しにくい作品は、失格になる場合があります。提出前に再度ご確認ください。</p> <p>⑨ 掲載作品の独占的著作権は、『文芸磐田 第52号』の発行時から一年間、磐田市に帰属します。また、応募原稿は返却しません。</p>
<p>7. 審査員 （予定）</p>	<p>◇ 小説 …… 鴻野 元希 掛川ほんわかブッククラブ代表</p> <p>◇ 随筆 …… 伊藤 律夫 元県立高校校長（国語）</p> <p>◇ 詩 …… いいださちこ 静岡県詩人会会員、静岡県文学連盟会員</p> <p>◇ 短歌 …… 原木 俊雄 静岡県歌人協会 名誉会員</p> <p>◇ 俳句 …… （現在調整中）</p> <p>◇ 川柳 …… 佐野 由利子 静岡県川柳協会常任理事、 静岡県川柳協会会長</p>
<p>8. 審査結果</p>	<p>応募作品は選考後、磐田市ホームページへの掲載により発表します。</p>
<p>9. 頒布</p>	<p>応募者全員に、応募数にかかわらず、本誌『文芸磐田 第52号』をひとり1冊無料で贈呈します。一般の方へは、1冊700円（税込）で販売する予定です。</p>

